お客様・お取引先様とともに

FDKグループは、モビリティ事業領域を中心にお客様に「One FDKで価値を提供」することによって、スマートエナジーマネージャーとして電気エネルギーを効率的に利用する技術でグローバルに社会に貢献し、また環境変化にも柔軟に対応することで、お客様にご満足いただけ、信頼を置いていただけるよう、活動を推進しています。

様々な形で社会に貢献する電池、電子製品を供給

基本的な考え方

FDKグループは、保有技術を活かして市場ニーズに応え、高品質で安全な環境にやさしい、お客様にご満足いただける電池、電子製品を継続的に開発・供給するという考え方のもと、市場ニーズに応える製品開発、供給、品質保証体制の構築、グリーン調達の推進に努めています。

国際二次電池展

FDKグループの取り組み

環境法や環境上の規範を遵守し、地球にやさしい素材を活かした電池、電子製品を提供し続けることで、未来を育む企業としての価値の向上を進めています。その一環として、これまでの経験から蓄積されてきた差別化技術を用い、そこから生み出される新たな付加価値が提供できる製品の開発に取り組んでいます。

特色のある差別化技術がもたらす「安心の提供」、「環境への責任」

FDKは電池と電子製品の技術を併せ持つ世界的にも稀有な企業グループです。
そうした特色が活かされた差別化技術は、一例として電池、電子製品でお互いの長所を融合した技術で蓄電システム製品を生み出しました。
お客様や市場が求める地球環境に配慮した製品を常に供給し続けることを心掛け、製品開発に取り組んでいます。
また、FDKの製品をより身近に感じていただくために、各種展示会に積極的に出展を行なっています。

2017年度におけるお客様へのご紹介

FDKは、医療機器の展示会「MEDTEC」や電子部品技術展の「TECHNO-FRONTIER 2017」、二次電池・蓄電池の製造・開発に関する世界最大の展示会「国際二次電池展」をはじめ、2017年度に合計11の展示会に出展し、FDKグループの電池、電子製品の技術、製品をご紹介するなど、電池・電子の新製品でFDKグループの技術力や社会課題の解決に貢献する製品をアピールしました。

次世代へ向けた製品開発

▶ 高エネルギー密度を有する全固体電池の開発

材料がすべて固体のため液漏れがなく、主に可燃性の有機系材料を使用している既存のリチウムイオン電池と比較し、高い安全性を有する全固体電池の開発を進めています。IoT(Internet of Things)、ウェアラブル、モバイルなどの機器の小型化に貢献します！

全固体電池(動作検証用試作品)

組織統治　人権　労働慣行　**環境**　公正な事業慣行　**消費者課題**　コミュニティへの参画

■ 2017年度の目標と実績

製品

- 市場ニーズに応える価値ある製品を成長期待の大きなインダストリアル市場に向け継続的投入
- 電池・電子の保有技術を利用し、市場ニーズに応える製品を市場投入
- 高特性と高品質を併せ持つ新磁性材料の開発と製品展開
- 大型システム電源技術の応用により高付加価値化を図った電源関連製品の積極的投入

取り組み

- 市場リサーチの強化を進め、お客様や市場の動向を迅速に探知し、ニーズに即した技術開発提案の実現
- お客様や市場の期待を超えた営業活動による信頼関係の強化
- BCPにもとづく継続的改善を行ない、様々なリスク発生時での早期復旧を実行

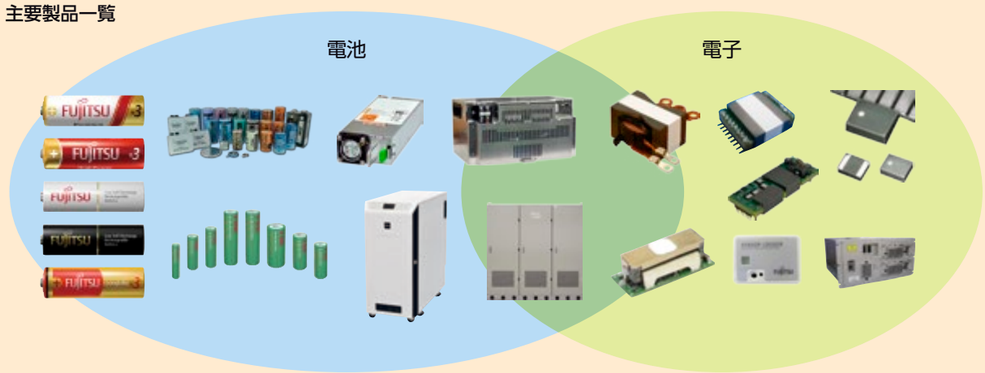
製品

- **アルカリ乾電池**
  高信頼性(未使用漏液・過放電漏液性能の向上)・高性能電池の開発について開発スケジュールに沿って開発を継続しています。
- **ニッケル水素電池**
  性能、リサイクル性の向上など、お客様のご要望や環境課題に対応した製品の開発、量産化に努めました。
- **システムビジネス**
  お客様からの高電圧対応モデルや低コストなモデルといったご要望の製品化に取り組み、いずれも開発が完了し、引き続きさらなる改善を進めています。
- **リチウム電池**
  テレマティクス機器向けモデルの開発に加え、薄形一次電池のビジネス拡大と薄形二次電池の商品化に向けた取り組みを実施しました。
- **電子製品**
  お客様の消費電力の低減に貢献するフェライト、コイルデバイス、積層パワーインダクタの開発を完了したことに加え、引き続きさらなる製品特性の向上に向けた改善を進めています。
  お客様の消費電力・部品員数の低減に貢献する各種モジュール製品については、DC-DCパワーモジュールが量産されたほか、お客様のご要望に応じたカスタマイズ、小型化したモデルの開発など開発を継続しています。
- **研究開発**
  高い安全性を有する全固体電池の開発を継続し、前期に開発した全固体電池用正極材料の特性向上に加え、早期の製品サンプル出荷に向けた実用化技術の開発を推し進めました。

取り組み

市場リサーチの強化を進め、お客様や市場の動向を迅速に探知し、ニーズに即した技術開発提案の実現に向け、組織体制を見直し、また、昨年構築したBCMの運用を今年度も継続しました。

主要製品一覧



品質や安全に配慮した開発

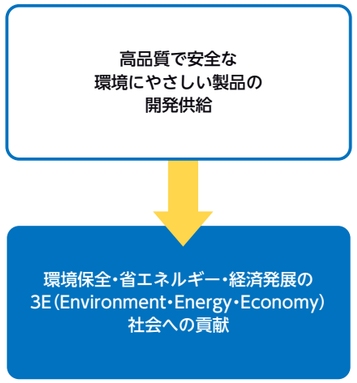
▶ 1.FDKグループ品質方針

スローガン

品質方針　「お客様の信頼に応える品質の提供」

理念

FDKグループは、品質第一を基本的な考え方として、高品質で安全な環境にやさしい、お客様にご満足いただける電池、電子製品を開発・供給して、環境保全・省エネルギー・経済発展の3E(Environment・Energy・Economy)社会に向け貢献することを使命としています。
また、企業責任を問われる重大な品質事故や世界各国の法規制違反など絶対に起こしてはならないと認識しています。そのため、営業から研究・企画・開発・設計・生産さらに顧客サービスなどのすべてのステップにおいて、全部門がお客様起点で行動して、より確かな品質経営を実行します。

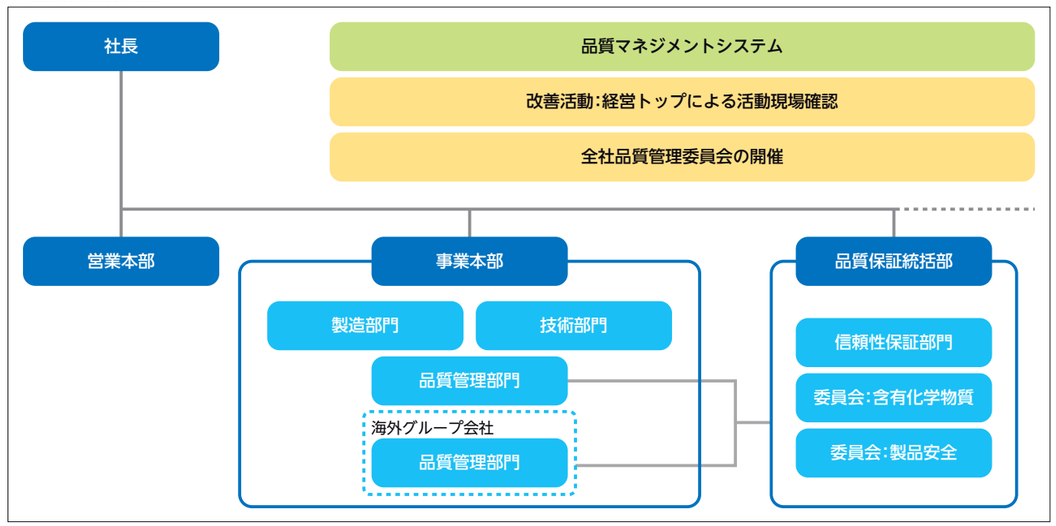


行動指針

1. お客様の品質要求事項は、最優先事項として迅速かつ適切に行動し顧客満足度を向上する。
2. お客様にご満足いただける品質・価格・納期の実現と環境保全に配慮した開発段階での源流活動を強化し、量産段階における品質トラブルの未然防止、納期の遵守、環境保全の向上につなげる。
3. 製品安全、含有化学物質など各種コンプライアンスに関わるリスク管理を継続強化する。
4. 品質マネジメントシステムを継続的に改善して、より効果的な品質経営を行なう。

▶ 2.品質保証活動組織・体制

■ 品質保証体制図



▶ 3.ISO9001/IATF16949認証取得状況

FDKは、品質マネジメントシステム(QMS:Quality Management System)のもとで継続的なプロセス改善に取り組んでおり、2017年末現在、海外を含めた全13拠点でISO9001認証を取得し、うち5拠点でIATF16949認証を取得しています。

▶ 4.品質保証の取り組み

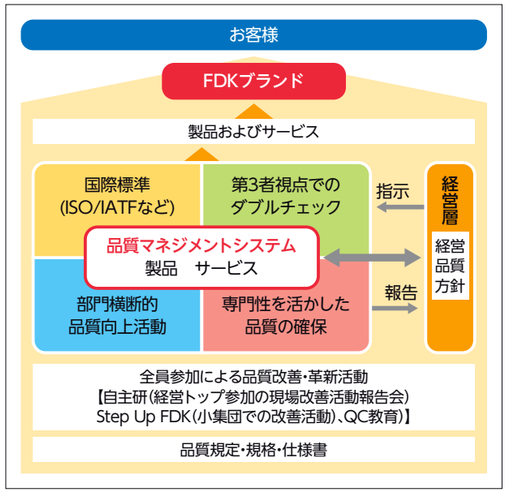
①品質保証体制

お客様が要求する機能・性能・その他内容を満足する製品・サービスの品質を提供するためには、経営層と様々な部門が連携し企業活動の全段階にわたり、全員参加活動が必要です。このため組織が一体となる体制や仕組みが無いと継続して活動ができません。
FDKでは、QMSを構築・運用しており、製品企画から製造・出荷・アフターサービスに至るまでの各ステップで、お客様にご満足いただける品質を実現し保証していきます。
これらQMSの運用においては、ISOなどの国際規格にもとづき、PDCA(Plan Do Check Action)のマネジメントサイクルを回し、より良い品質を目指し、継続的改善を図っています。

②品質保証の推進体制

FDKは多岐にわたる製品群、海外を含めた各事業拠点の品質保証活動における「One FDK」を目標に掲げた連携活動にも取り組んでいます。品質保証統括部では、その活動を牽引すべく全事業部との定期的な打合せによる情報共有、品質方針策定、コンプライアンスに関わる問題や品質トラブル発生時のエスカレーション、人材育成のための教育、不具合事例やノウハウなどに対する水平展開に積極的に取り組んでいます。

■ 品質保証の枠組み



品質保証強化への取り組みの改善プロセス

▶ 1.客観的な視点による製品サービスの品質保証活動

品質方針であるお客様の信頼に応える品質を提供するために、企画から量産移管に至る各検証プロセスにおいて、品質関連規定や細則にもとづき自部門だけなく関係部門を交えたOne FDKでの広い知見でレビューを実施し、より客観的な検証を強化しています。

▶ 2.グリーン調達の取り組み

FDKグループは、環境負荷を考慮した事業活動と環境配慮製品の提供により持続可能な社会の発展に貢献しています。
「FDKグループ　グリーン調達基準」にもとづいた環境に配慮した調達品の使用を通じて、お客様へ環境配慮製品を提供しています。

■ 品質保証の各検証プロセス図

FDKグループは、良き企業市民として、ステークホルダーとの対話を通じて多様な期待と要請を理解するとともに、地域貢献活動をはじめとした社会への様々な貢献活動を継続的に行なっています。

組織統治　人権　労働慣行　環境　公正な事業慣行　消費者課題　コミュニティへの参画

ステークホルダーとの対話と協力

基本的な考え方

FDKグループは良き企業市民として、ステークホルダーの多様な期待と要請を理解して企業活動を実施することを方針としています。
公開すべき情報を的確に開示し、ステークホルダーとの対話を行ない、事業活動への反映を通じて社会に貢献する企業活動を継続的に行なうことにより企業価値の向上に努めます。

■ 2017年度の目標と実績

ステークホルダーとの対話機会の充実と要請事項への的確な対応

❶CSR報告書の発行
（16年度版の発行完了と17年度版の立案、作成開始）

❷**お客様:** 情報提供要請に対する適切な情報開示

❸**株主、投資家:** 株主総会、IRミーティング、ホームページ上の情報開示、経営方針・決算説明会など対話の実行に向けた検討

❹**取引先:** 双方向コミュニケーションの充実

❺**従業員:** 労使対話、満足度調査、経営トップとの対話、リスクマネジメント推進

❻**地域社会:** 地域住民などへの社会貢献活動（地域住民交流会、清掃活動、工場見学、乾電池教室など）

- 2017年版CSR報告書は2017年6月に発行しました。当社従業員、外部の方などからの評価を確認し、2018年発行版の検討を進めています。
- お客様からの会社概要などの問い合わせの対応や展示会に出展し、お客様への適切な情報提供に努めました。
- 外部のステークホルダーに対しては、当社ホームページ上の適時適切な開示に努めました。
- 調達先、業務委託、人材派遣会社に対して、CSR調査を実施するとともに、労働関係を主とした自社チェックリストを展開しました。
- 従業員に対しては、引き続き定期的な労使対話に努めました。2017年度は、リスクマネジメントを推進し、リスク・コンプライアンス委員会を2017年9月に設置しました。
- 地域社会への貢献活動などについては、下の表のとおりです。

地域社会への貢献活動

FDKグループでは、ステークホルダーとの対話機会の充実を図る取り組みの一つとして、地域社会への貢献活動に積極的に取り組んでいます。
FDKの事業の特徴を活かした小中学生に対する乾電池教室や出前環境授業、工場見学会、また地域と密着した清掃活動やイベントへの参画、募金・寄贈・献血活動など様々な活動を年間通じてグループ会社の工場を含めた全事業所で行なっています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本　社	●富士通川崎工場春祭りでの乾電池教室実施				●富士通本社（汐留）親子職場見学会での乾電池教室実施							
湖西工場		●フェスタFDK実施	●浜名湖クリーン作戦に参加 ●工場内で献血実施	●夏の全国交通県民運動 鷲津駅前立哨指導実施	●湖西おいでん祭に参加 ●富士通東海支社ファミリーDAYでの乾電池教室実施	●夏の全国交通安全運動 鷲津駅前立哨指導実施		●県立新居高校での在学者訓練講師派遣 ●湖西市 青少年の科学実験に参画	●年末全国交通安全運動 鷲津駅前立哨指導実施			
山陽工場	●工場内で献血実施 ●工場内周辺清掃活動	●工場内周辺清掃活動	●工場内周辺清掃活動	●工場周辺清掃活動	●介護福祉施設清掃ボランティア ●工場周辺清掃活動	●列島クリーンキャンペーン ●工場周辺清掃活動	●工場周辺清掃活動 （毎稼働日）	●工場周辺清掃活動 （毎稼働日）	●工場周辺清掃活動 （毎稼働日）		●工場周辺清掃活動 （毎稼働日）	●工場周辺清掃活動 （毎稼働日）
鷲津工場		●フェスタFDK運営協力	●浜名湖クリーン作戦に参加 ●工場前県道清掃活動 	●豊橋市立多米小学校教諭工場見学受入	●杏林堂様主催「第9回親子乾電池教室」実施 ●沼津市主催「エコ教室」で手作り乾電池教室実施於）富士通沼津工場 ●国民宿舎奥浜名湖荘主催「親子乾電池教室」実施	●湖西市社会福祉協議会へ古切手、ベルマークを寄贈	●湖西市立鷲津小学校3年生工場見学受入 	●湖西市立鷲津中学校2年生職業体験受入	●ポリテクカレッジ浜松工場見学受入 	●工場内で献血実施 ●静岡県立新居高校インターンシップ ●湖西市岡崎地区老人会工場見学受入 ●静岡県立浜松工業高校工場見学受入	●工場内周辺清掃活動 ●介護保険制度および認知症セミナー ●大学1年生対象 1Dayインターンシップ	●湖西市社会福祉協議会へ古切手、ベルマークを寄贈
高崎工場	●家族工場見学会および環境授業	●工場内で献血実施	●会社周辺清掃活動		●第43回高崎まつりリサイクルステーション協力		●群馬高専総合工学授業実施 ●高崎市立浜尻小学校4年生親子環境授業 	●工場内で献血実施				
鳥取工場	●道の駅構内の清掃活動および花壇の除草実施	●道の駅構内清掃活動	●道の駅構内清掃活動および花壇の土の入れ替え実施 	●工場内で献血実施 ●道の駅構内清掃活動 ●岩美道の駅ボランティア活動が認められ「国土交通功労者表彰」を授与	●岩美町転入教職員工場見学受入 ●地域貢献活動（浦富海岸清掃参加） 	●道の駅構内清掃活動 	●道の駅構内清掃活動および花壇の花植え替え実施	●道の駅構内清掃活動	●河崎地区歩道除雪作業および岩美町シルバー人材センター作成のお正月しめ縄飾りの社内斡旋と配布		●河崎地区歩道の除雪作業 ●PFUブルーキャッツのチャレンジリーグ応援団結成	
FDKエンジニアリング			●EGクリーン作戦の実施				●EGクリーン作戦の実施					

FDKグループは、社員一人ひとりがその能力を十分に発揮できるとともに、社会に貢献する高い志を持ち、組織とともに成長できるよう、様々な取り組みを行なっています。

多様性の受容、地球と社会に貢献する人材の育成

基本的な考え方

FDKグループでは、国籍、性別、年齢の違いや障がいの有無などにかかわらず多様な人材を受け入れ個人を尊重し合うことで、社員一人ひとりと組織がともに成長したいと考えており、様々な価値観や働き方を取り入れ、企業価値を高める「経営戦略」として、ダイバーシティに取り組んでいます。
また、グローバルな視点に立ち、社会の発展に貢献する高い志を持った人材の育成に取り組んでいます。

人権尊重への取り組み

FDKグループで働くすべての人が、あらゆる差別を排除し、多様な人材を受け入れ、それらの行動を実践するために、研修、セミナーによる啓発活動を行なっています。

人権尊重にかかる2017年度の目標と実績

▶ 人権に関する啓発活動

12月の人権週間にあわせて人権啓発活動を行ない、人権尊重の意識を広げる。

- 人権意識の向上を目的としたセミナーの開催
- 「人権啓発リーフレット」の全員配布

人権に関する教育・研修

各種研修会カリキュラムに人権研修を組み込み、積極的に人権について考える機会を設ける。

- マネジメント研修
- 新任課長研修
- 主任昇格者研修
- 中堅社員研修　など

人権セミナー

ダイバーシティの取り組み

▶ マイルストーン

第1期　2014～2016年度　認知・理解
女性活躍支援プロジェクトの趣旨理解
社員が活躍できる環境整備

第2期　2016～2017年度　理解・実践
価値観の多様性が強みとなる企業
多様な働き方と生産性向上

第3期　2018年度～　実践・ビジネス貢献
個人のやりがい・働きがいの向上

▶ 第1期：2014～2016年度（認知・理解）

- 女性社員の活躍機会の拡大と支援を目的として『女性の活躍支援プロジェクト』を発足し、意識の向上や就業面の改善に取り組みました。
- 仕事、家庭、地域生活の調和がとれた生活の実現に向け、各拠点にて「男女共同参画」に加入しています。

湖西工場・鷲津工場　山陽工場　鳥取工場

- 2015年8月に「女性活躍推進法」が制定され、FDKでは2021年度までに管理監督職の女性の人数を2015年度比で125%以上にする目標を掲げ、女性が安心して働き、活躍できる環境づくりに取り組んでいます。

▶ 第2期：2016～2017年度（理解・実践）

- 制約のある無しにかかわらず将来のキャリアを自律的に描き、幹部社員はその成長を期待・支援する、そのようなサイクルが回り続ける組織の進化に向けた取り組みを展開しています。

▶ 第3期：2018年度～（実践・ビジネス貢献）

- 「ダイバーシティ＆ワークライフバランス」を重要な経営戦略とし、働き方改革に取り組みます。

ダイバーシティ推進の体制

2014年度より女性社員の働きやすい環境整備を進めてきましたが、その後、男女にかかわらず個の成長とそれによる新しい価値の創造を目指し、「多様な人材の活躍支援」と「多様な働き方の実現」の2つを軸にしダイバーシティを推進しています。

▶ ダイバーシティの方針

ES（従業員満足度）調査で抽出された課題、社長と社員の座談会での意見、女性社員を対象にしたダイバーシティに関するアンケートの結果より、次の2点を掲げ推進しています。

個人の成長・やりがいの向上
社員一人ひとりが、お互いを認め、自分ならではの付加価値を発揮し、組織に貢献する。

企業の競争力強化・成長
多様な視点から自由闊達に議論することで、新たな知恵と技術を創造し続ける。

ダイバーシティにかかる2017年度の目標と実績

▶ 意識改革、組織の風土改革

- 全幹部社員を対象とした職場マネジメントセミナーの実施

▶ 一人ひとりの意欲の発揮に向けた働きがいの向上

- 上位階層向けリーダーシップ研修の実施
- キャリア形成の構築と周りの支援強化

▶ 総労働時間低減により ワークライフバランスの意識向上

- より少ない時間で高い成果を生み出せる環境の整備
- 業務の標準化、マニュアル化、一人作業の廃止
- 会議、資料作成時間の削減
- ノー残業デーの徹底

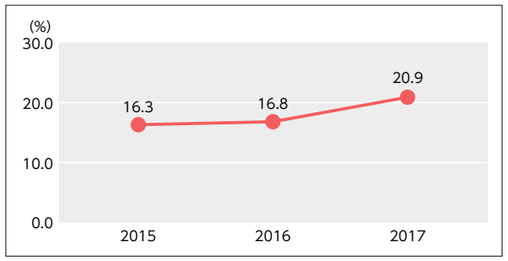
▶ 女性活躍推進法の推進

- 女性の意識改革と監督職の増員

女性キャリアアップ研修

上記を含み、2017年度は、ダイバーシティにかかるセミナーを合計20回実施しました。

■ 女性社員の雇用比率

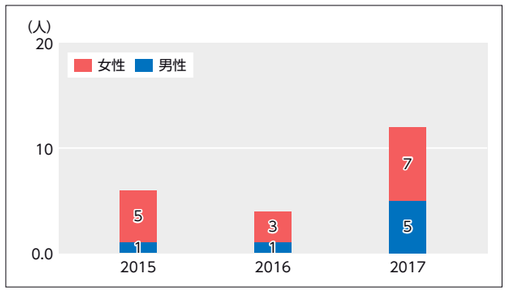


▶ ダイバーシティ＆インクルージョン推進のメッセージ発信と啓蒙活動の推進

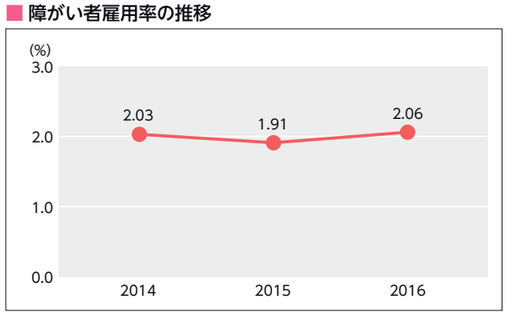
- 役員によるイクボス宣言
- 啓蒙資料による意識の醸成

役員のイクボス宣言

■ 育児休職制度の利用者数



■ 障がい者雇用率の推移



VOICE

「認める・活かす・高めあう」組織に！

ダイバーシティ推進室長
野澤 操

人によって考え方・生き方・働き方は様々で一人として同じ人間など存在しません。
まずは、一人ひとりの「違い」に気づき、お互いに「認め」、多様な人材が持つ視点・発想や価値観を最大限に活かせるそんな会社にしたいと思っています。
ライフイベントの変化に応じて、最も効率的な働き方が選択できる仕組みをさらに拡充し、すべての社員が「働きやすさ」を感じながら活躍し続けられる、『業界一のWork Life Balance企業』を創っていきます。

人材育成方針

▶ 人材育成の４テーマ

FDKグループの人材育成については大きく４つのテーマに分けて考え、それぞれのテーマに沿った教育に取り組んでいます。

底上げ教育

階層別研修の充実（全体の底上）
若手層からシニア層まで世代や立場にフィットした階層別教育の充実と横連携の強化

多様な“個”が活躍する風土の醸成
ダイバーシティ推進、キャリア支援などを通じた個々の人材サポート、モチベーションの向上

選抜教育

グローバルビジネス・次世代リーダーの育成
長期的視点にもとづくグローバルに活躍できるビジネスリーダーの育成

プロフェッショナル化の推進
高度専門教育の充実・プロフェッショナル人材の育成（社内専門教育の水平展開）

取り組み事例

▶ 階層別研修の充実

2017年度は、階層別研修の充実を目的に研修区分新設、カリキュラムの見直しを図りました。

研修区分の新設
- **新任部長研修**
  組織上の立場や役割を再認識し、経営戦略、各種マネジメントに必要な変革力、構想力、育成力を強化し、部長に要求される組織・職場マネジメントを高める。
- **中堅社員研修（アドバンス）**
  中堅社員の自覚と行動を理解し、必要な知識、技術（上司、部下などの周囲の関係者を巻き込みながら、成果を目指す）を向上させる。さらに、組織に働きかけるマネジメントを高める。

カリキュラムの見直し（TPS、2S／5S活動の追加）
- **新任幹部社員研修**
- **主任昇格者研修**
- **中堅社員研修（ベーシック）**

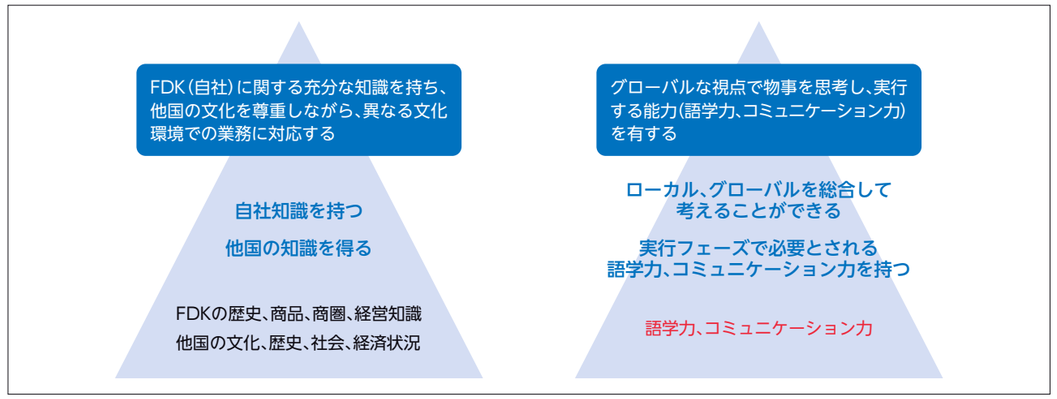
▶ 専門能力強化

静岡大学工学部・電気電子工学コースの教授をお招きし、「パワーエレクトロニクスセミナー」を開催しました。
技術のさらなるブラッシュアップと技術イノベーションに果敢に挑戦する技術者集団の創造を図り、「様々な形で社会貢献できる、スマートエナジーマネージャー」を目指します。

▶ グローバルビジネスリーダー育成

FDKでは、グローバル人材を「自社に関する充分な知識を持ち、他国の文化を尊重しながら、異なる文化環境での業務に対応する」「グローバルな視点で物事を思考し、実行する能力（語学力、コミュニケーション力）を有する」と定義しています。

■ グローバル人材イメージ図



2017年度はグローバル人材に必要とされる語学力獲得のための学習環境を見直しました。
自己学習プログラムに提携会社を追加し、全事業所に対して平等な学習機会を提供するとともに、様々な学習形態（通学、eラーニング、オンライン英会話）を選択可能としました。
また階層別研修において「TOEIC」を実施することで、自身の語学力を認識する機会を設けています。

▶ 次世代ビジネスリーダー育成

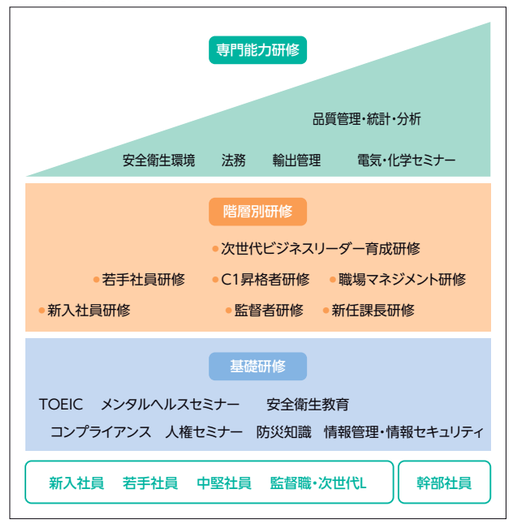
FDKでは、社会との関わりを見据えた広い視野を持つ「主体的で自立した個」を育成し、社員の意識改革、思考改革を社内に展開、普及させていくことで、環境の変化を機敏に察知し、変化に対応できる強い組織の実現を目的とした次世代ビジネスリーダー育成のための研修を開催しています。
この研修は、漏れのない発想・新たな想像・気づく力を向上させるため、様々な視点で物事を見て考えることを主体にしています。2017年度は18名が年間を通じて参加しました。

次世代ビジネスリーダー研修

人材育成体系

全社員が共有すべき知識や技能および基本行動に関する「基礎研修」、新入社員から幹部社員までそれぞれの立場・役割に応じた「階層別研修」、そして職種の専門性を高める「専門能力研修」の３区分に応じた教育を実施しています。

■ 人材育成体系図



FDKグループは、環境問題を常に意識し、電池、電子製品の供給により社会全体の環境負荷・環境リスクの低減に貢献することに加え、自らの調達・生産・供給において環境負荷の低減に取り組んでいます。

地球環境保全への対応

基本的な考え方

「FDKグループは地球を愛します　かぎりある自然のために」のスローガンのもと、FDKグループでは、美しい地球環境が次の世代へと受け継がれるよう、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけており、事業の独自性を反映させた環境経営を推進しています。

FDKグループ環境憲章

FDKグループは、富士通グループの一員として企業の事業活動に伴なう環境保全への取り組みについて、各国、地域の法規制対応や、温室効果ガス削減、廃棄物削減、化学物質管理の徹底のみならず、提供する製品を通しての環境負荷低減など、地球規模の視点で主体的に持続可能な循環社会実現に向けて行動しなければならないと認識しています。
全社的に、より確かな環境経営を推進するため、「FDKグループ環境憲章」を制定しており、FDKグループのミッションを包含して以下のとおり改定しました。

■ FDKグループ環境憲章

FDKグループ環境憲章

FDKグループは、以下の環境理念のもと、スローガンを定め、環境経営を推進してまいります。

理念

FDKグループは、「電気エネルギーを効率的に利用する技術でグローバルに社会に貢献」をグループのミッションとし、Smart Energy Manager（スマートエナジーマネージャー）として、お客様にご満足いただくと共に、環境に貢献する電池、電子製品を中心とした製品を開発、供給し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。
また、FDKグループは、豊かな自然・美しい地球環境を次世代に伝えていくため、環境法や環境上の規範を順守した公正な企業活動を通じ、社員一人ひとりはもとより、“One FDK”として環境への取り組みを推進してまいります。

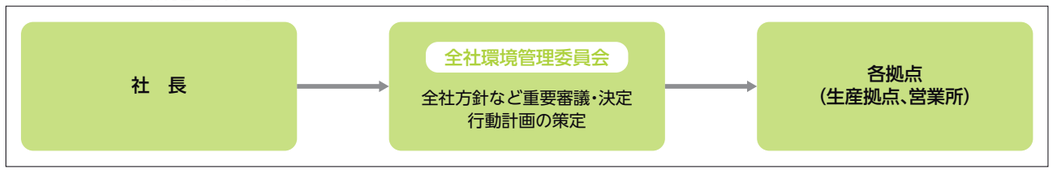
FDKグループ　スローガン

FDKグループは地球を愛します　かぎりある自然のために

＊本憲章は、国際規格ISO14001の適用範囲にかかわらず、国内外の拠点・関係会社に適用する。

FDKグループ環境管理体制

■ FDKグループ環境管理体制



FDKグループ第８期環境行動計画（2016年度～2018年度）

FDKグループでは、富士通グループ環境行動計画に準拠した3ヶ年計画を策定し、環境への取り組みを推進しています。これらの方針・目標などを通じて、全事業領域にわたり計画的かつ継続的に活動を展開し、自社の環境負荷低減に努めるとともに、お客様・社会の環境負荷低減に貢献しています。2017年度の結果は下表となりました。未達成のテーマについては、原因の分析を行ない、新たな仕組みを構築することにより、対応してまいります。

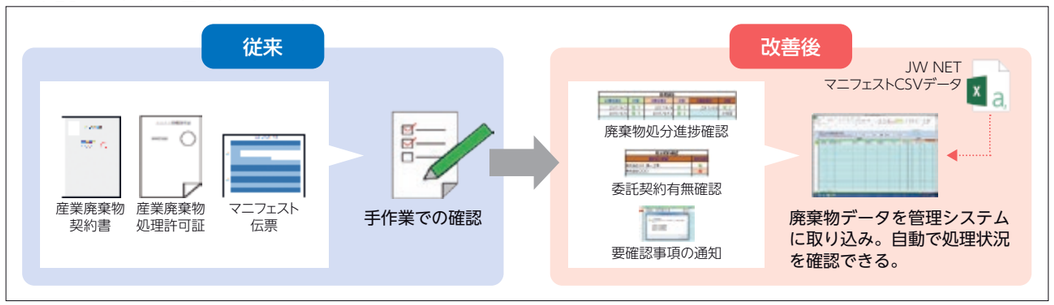
項目	行動計画（2016年～2018年）	2017年度 目標	2017年度 実績
環境配慮設計	エネルギー効率改善（省エネルギー）に寄与する電池・電子製品を年１件以上開発する。	電池・電子製品を各拠点で年１件以上開発	**湖西**　DC-DCモジュール製品、トランス製品の開発 **山陽**　積層パワーインダクタ製品の開発 **高崎**　低自己放電モデルのニッケル水素電池の開発 **鳥取**　筒形リチウム電池の容量向上
	資源効率改善（省資源）に寄与する電池・電子製品を年１件以上開発する。	電池・電子製品を各拠点で年１件以上開発	**湖西**　蓄電システムの軽量化 **山陽**　フェライト製品の軽量化 **高崎**　リサイクル材を利用したニッケル水素電池の開発 **鳥取**　リチウム電池の材料ロス低減
温室効果ガス削減	2018年度末までにエネルギー消費CO_2排出量を2013年度比14%削減する。（48,181t以下に抑える）	国内FDKグループ全体で排出量を2013年度比15%削減（47,776t以下に抑える）	実績45,945t 老朽化設備の更新、照明LED化などを実施
エネルギー効率	エネルギー消費原単位を年平均1%改善する。	年平均1%改善	3拠点で目標達成、2拠点で未達成
化学物質削減	2018年度末までにPRTR＊対象物質排出原単位を2015年度比3%改善する。	各拠点で2015年度比2%改善	4拠点で目標達成、1拠点で未達成
廃棄物削減	2018年度末までに廃棄物発生量原単位を2015年度比3%改善する。	各拠点で2015年度比2%改善	全拠点で目標達成 分別の徹底、製造工程での廃棄ロス削減推進
地域環境・社会貢献	地域の環境貢献・社会貢献活動の取り組みを年２件以上実施する。	各拠点２件／年以上実施	P21およびP22をご参照ください。

＊PRTR（化学物質排出移動量届出制度：Pollutant Release and Transfer Register）：人の健康や生態系に有害な恐れのある化学物質について、事業所からの環境（大気、水、土壌）への排出量および廃棄物に含まれての事業所外への移動量を、事業者が自ら把握し国に対して届け出るとともに、国は届出データや推計にもとづき、排出量・移動量を推計し、公表する制度。

産業廃棄物処理に関わる電子マニフェスト管理システムの開発

産業廃棄物の排出事業者には、その産業廃棄物の運搬・処理を委託する際、行き先を管理し不法投棄を未然防止するため、予め委託先と契約を締結すること、またマニフェスト（産業廃棄物管理票）を委託先に交付し、処理後実績が記載されたマニフェストを回収することが法律で義務付けられております。現在環境省が普及拡大を推進している電子マニフェストを導入することにより情報伝達の迅速化・合理化を図ることができますが、記入内容の確認は従来同様一件一件担当者が行なう必要がありました。
FDKでは、電子マニフェストのデータを利用して、帳票の確認を自動で行なうシステムを社内で開発し、作業の効率化を図りました。

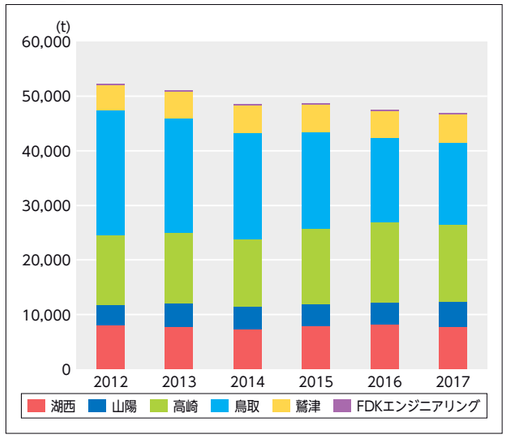
■ 新電子マニフェスト管理システムイメージ図



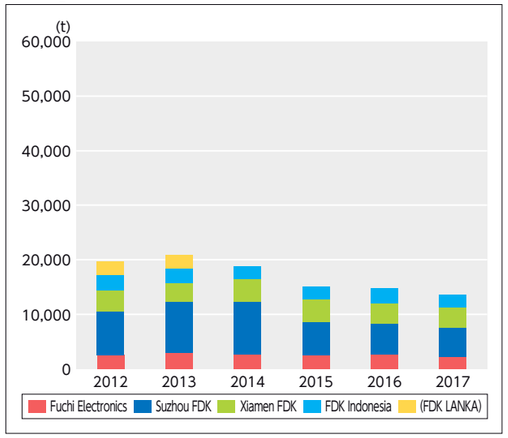
環境パフォーマンス

▶ CO_2排出量の推移（国内、海外）　2012年度～2017年度

■ CO_2排出量の推移（国内）

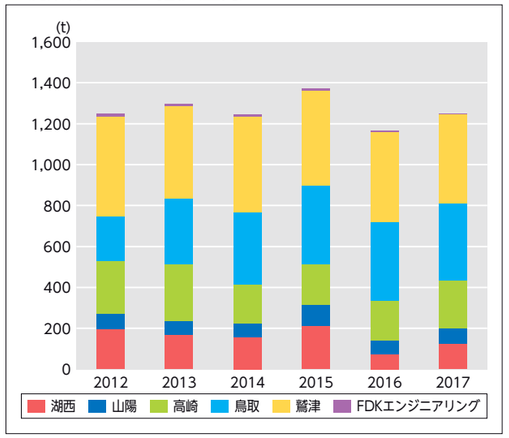


■ CO_2排出量の推移（海外）

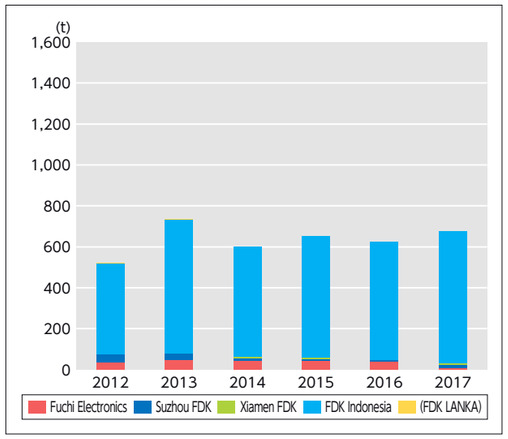


▶ 廃棄物発生量の推移（国内・海外）　2012年度～2017年度

■ 廃棄物発生量の推移（国内）



■ 廃棄物発生量の推移（海外）



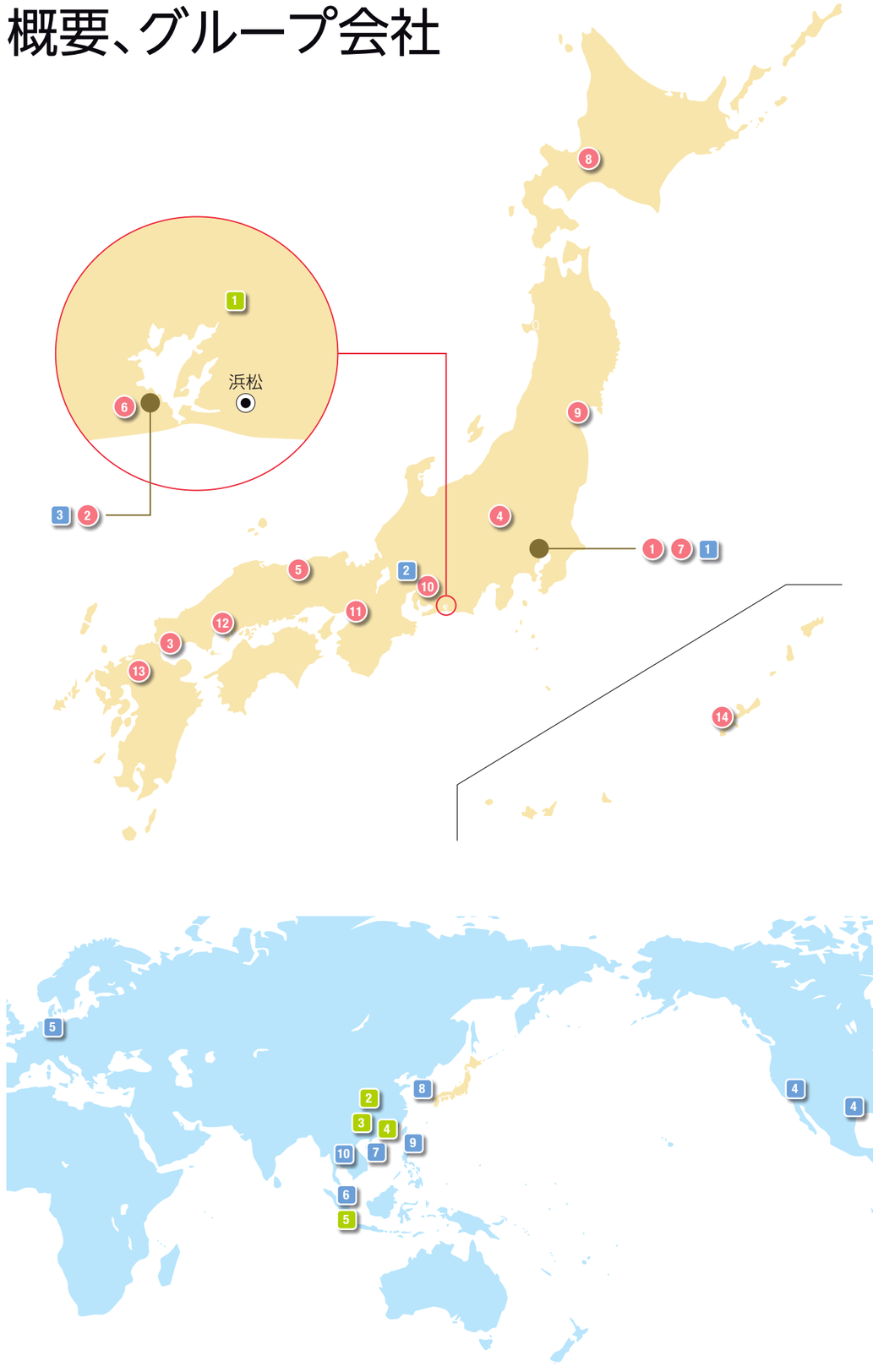
事業所別2017年度パフォーマンスデータ（カッコ内は前年度実績）

項目（単位）	湖西工場	山陽工場	高崎工場	鳥取工場	鷲津工場	FDKエンジニアリング
CO_2排出量（t-CO_2）	7,772 (8,201)	4,619 (4,008)	14,171 (14,671)	15,004 (15,552)	5,105 (4,877)	239 (231)
水使用量（㎥）	84,024 (138,845)	29,413 (28,460)	24,179 (24,640)	98,717 (115,395)	46,691 (51,508)	739 (530)
PRTR対象物質排出量（kg）	3 (8)	0 (2)	182 (92)	178 (189)	– (–)	– (–)
Sox排出量（kg）	—	– (–)	– (–)	— (0)	– (–)	– (–)
Nox排出量（kg）	167 (186)	– (–)	– (–)	4,688 (6,093)	– (–)	– (–)
ばいじん（kg）	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)
排水量（㎥）	84,024 (138,845)	29,685 (28,460)	23,629 (24,167)	51,816 (54,035)	46,691 (51,508)	739 (530)
廃棄物（トン）	122 (72)	79 (65)	231 (195)	380 (388)	433 (437)	5 (8)
地域、社会貢献（件）	9 (6)	3 (4)	3 (3)	9 (2)	14 (13)	2 (2)

項目（単位）	FDKエコテック	Suzhou FDK	Xiamen FDK	Fuchi Electronics	FDK Indonesia
CO_2排出量（t-CO_2）	25 (24)	5,297 (5,732)	3,720 (3,560)	2,227 (2,708)	2,412 (2,698)
水使用量（㎥）	– (–)	9,590 (9,170)	20,633 (19,554)	7,892 (10,814)	11,366 (27,187)
PRTR対象物質排出量（kg）	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)
Sox排出量（kg）	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)
Nox排出量（kg）	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)
ばいじん（kg）	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)	– (–)
排水量（㎥）	– (–)	9,590 (9,170)	20,633 (19,554)	7,892 (10,814)	11,366 (27,187)
廃棄物（トン）	– (–)	14 (9)	10 (3)	7 (36)	645 (575)
地域、社会貢献（件）	2 (2)	– (–)	1 (2)	— (2)	– (–)

＊「—」は、集計対象外、該当なし、または隔年で測定義務があるもので、当該年度の測定を行なっていないものです。
＊購入電力について、CO_2換算係数を0.57t-CO_2／MWhで再計算
＊FDK LANKAは、事業譲渡により2014年度以降の集計対象から除外しています。

概要、グループ会社



■ 本社、事業所、営業所

本社

事業所	住所	ISO14001	ISO9000'sおよびTS/IATF16949
1 本社	〒108-8212　東京都港区港南1-6-41（品川クリスタルスクエア） TEL:03-5715-7400	EC98J2005	–

事業所

事業所	住所	ISO14001	ISO9000'sおよびTS/IATF16949
2 湖西工場	〒431-0495　静岡県湖西市鷲津2281 TEL:053-576-2151	EC98J2005	4745
3 山陽工場	〒757-8585　山口県山陽小野田市本町5区 TEL:0836-72-1311	EC98J2005	ISO9001:3560381 IATF16949:290535
4 高崎工場	〒370-0071　群馬県高崎市小八木町307-2 TEL:027-361-7575	EC98J2005	4681
5 鳥取工場	〒681-0063　鳥取県岩美郡岩美町太田28 TEL:0857-73-1771	EC98J2005	ISO9001:4193838 IATF16949:281965
6 鷲津工場	〒431-0431　静岡県湖西市鷲津614 TEL:053-576-2111	EC98J2005	JQA-0459

営業所

事業所	住所	ISO14001	ISO9000'sおよびTS/IATF16949
7 首都圏営業所	〒108-8212　東京都港区港南1-6-41（品川クリスタルスクエア） TEL:03-5715-7436	–	–
8 札幌営業所	〒060-0007　北海道札幌市中央区北7条西13-9-1（塚本ビル7号館） TEL:011-798-4699	–	–
9 仙台営業所	〒983-0852　宮城県仙台市宮城野区榴岡4-12-1（シエロ仙台東口ビル） TEL:022-293-5265	–	–
10 名古屋営業所	〒450-0002　愛知県名古屋市中村区名駅2-38-2（オーキッドビル） TEL:052-561-3141	–	–
11 大阪営業所	〒532-0004　大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-29（テラサキ第2ビル） （電池営業部門）TEL:06-6350-4883 （電子営業部門）TEL:06-6350-4877	–	–
12 広島営業所	〒732-0052　広島県広島市東区光町2-9-27（ユーペック光町ビル） TEL:082-535-1450	–	–
13 福岡営業所	〒812-0038　福岡県福岡市博多区祇園町1-28（いちご博多ビル） TEL:092-291-9421	–	–
14 沖縄営業センター	〒901-2128　沖縄県浦添市伊奈武瀬1-9-6（琉球通運（株）T.C.事業部内） TEL:098-868-8685	–	–

■ グループ会社（生産関連会社5社）

事業所	住所	ISO14001	ISO9000'sおよびTS/IATF16949
1 （株）FDKエンジニアリング	〒431-1302　静岡県浜松市北区細江町広岡281 TEL:053-522-5280	EC98J2005	JQA-QMA15241
2 SUZHOU FDK CO., LTD.	43 Building Fengqiao Industrial Park 158-88 Huashan Road, Suzhou New District Jiangsu, China TEL:+86-512-6661-9392	EMS 599587	ISO9001:FM 79598 IATF16949:253888
3 XIAMEN FDK CORPORATION	No. 16, Malong Road, Huoju Garden, Huoju Hi-Tech District, Xiamen, Fujian, China TEL:+86-592-603-0576	00117E20324R3M/3502	ISO9001:00117Q30657R3M/3502 IATF16949:298607
4 FUCHI ELECTRONICS CO., LTD.	No. 355, Section 2, Nankan Road, Rutsu Shan, Tao Yuan, Taiwan TEL:+886-3-322-2124	4E9E001-10	ISO9001:2015/69024.2 TS16949:0223086
5 PT FDK INDONESIA	Kawasan Industri MM2100, Blok MM-1 Jatiwangi Cikarang Barat, Bekasi 17520 Jawa Barat, Indonesia TEL:+62-21-8998-2111	13/02329	13/02328

■ グループ会社（販売会社など10社）

事業所	住所	ISO14001	ISO9000'sおよびTS/IATF16949
1 FDK販売（株）	〒108-8212　東京都港区港南1-6-41（品川クリスタルスクエア） TEL:03-5715-7430	EC98J2005	–
2 FDKエコテック（株） （岐阜事業所）	〒503-0322　岐阜県海津市平田町土倉字江東478 TEL:0584-66-4781	EC98J2005	–
3 FDKパートナーズ（株）	〒431-0431　静岡県湖西市鷲津2281 TEL:053-576-3121	EC98J2005	–
4 FDK AMERICA, INC.	(Head Office)　1280 E. Arques Avenue, MS310, Sunnyvale, CA 94085, U.S.A. TEL:+1-408-746-6815 (Dallas Office)　2801 Telecom Parkway, MS C1R, Richardson, Texas 75082, U.S.A. TEL:+1-972-231-2531	–	–
5 FDK ELECTRONICS GMBH	Einsteinring 24, 85609 Aschheim/Munich, Germany TEL:+49-89-3306680-0	–	91110693/2
6 FDK SINGAPORE PTE. LTD.	4, Leng Kee Road. #04-08 SiS Bldg., Singapore 159088, Singapore TEL:+65-6472-2328	–	–
7 FDK HONG KONG LTD.	Suite 1607-1608A, 16/F., Tower 3, China Hong Kong City, 33 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2799-9773	–	–
8 FDK KOREA LTD.	11F, Kyobo Life Insurance Bldg., 1, Jong-ro, Jongno-Gu, Seoul 03154, Republic of Korea TEL:+82-2-582-8452	–	–
9 FDK TAIWAN LTD.	8F.-4, No.57, Sec. 1, Chongqing S. Rd., Zhongzheng Dist., Taipei City 100, Taiwan TEL:+886-2-2311-5161	–	–
10 FDK（THAILAND）CO., LTD.	23rd Floor, Exchange Tower, 388 Sukhumvit Road. Kwaeng Klongtoey, Khet Klongtoey, Bangkok 10110 Thailand TEL:+66-2-302-1517	–	–

＊ISO14001、ISO9000'sおよびTS/IATF16949など、第三者認証取得状況は、2018年3月31日現在

FDK株式会社

〒108-8212　東京都港区港南一丁目6番41号
品川クリスタルスクエア8階

CSR・コンプライアンス統括部
TEL：03-5715-7402　FAX：03-5715-7401
E-Mail：csr@fdk.co.jp

Printed with UV Ink
VOC Free

FSC
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C005531